

## ○ 2月21日(金)

### 小中学校スクールミーティング(福知山市立佐賀小学校)

---



#### ○ 安藤 委員

墨の香りが漂う教室で、「5. 6年生の書写」の授業を拝見いたしました。墨を一から磨ることで落ち着いて書写に取り組もうという心境にさせ、お手本と見比べながら自分で書いた文字を分析させるなど、書への意識を高めていく高校教員の専門的な指導はとても魅力的でした。「墨へのこだわり」や道具や書に対する豊富な知識、そして本物に触れながら書への関心を引き出す授業は、小学校教員も多くを学べる機会でもありません。ほんの数分間で子どもたちの字がみるみる上達し、それが子どもたちの喜びにもなっていることが感じられました。たくさんの方が参観する中、緊張しながらも最後まで自分の納得のいく「書」を完成させようと真剣な眼差しで取り組む姿に、意欲と粘り強さを感じました。

懇談の中でも、専科教育の指導により集中力や自ら学ぼうとする力がついたなど、日々の授業や様々な活動においてもその波及効果があることをお聞きしました。またこの学校では、中学校学区で、日々の学級づくりや学習指導などの課題を幼小中で共有しながら、共通の学習基盤づくりにとても熱心に取り組んでおられます。教師集団の学びの合いの場を積極的に持ち、それぞれの学校の役割をしっかりと考える「先生方の頑張り」が、子どもたちの笑顔へつながっているのだと、授業を見て実感できました。

地域の文化力を育む小高連携や幼小中間の深いつながりは、校種を越えた取り組みの中で、中学や高校での学校生活のイメージにも繋がることと思います。切れ目のないゆるやかな接続となる画期的な取り組みに今後も期待します。